

J X T G 童話賞 選考委員プロフィール

西本 鶏介（にしもと けいすけ）



奈良県に生まれる。昭和女子大学名誉教授。児童文学や児童文化に対する評論、作家・作品論、民話の研究、創作など幅広く活躍。また坪田譲治文学賞、椋鳩十文学賞などの選考委員もつとめる。著書は各ジャンルにわたって 600 冊を越える。近刊の著書に「まよなかのたんじょうかい」（すずき出版）、「西本鶏介児童文学論コレクション（3 巻）—巖谷小波文芸賞特別賞受賞—」（ポプラ社）などがある。

立原 えりか（たちはら えりか）



東京に生まれる。童話作家。「人魚のくつ」でデビュー以来、ファンタジーを書きつづけ、代表作は「木馬がのった白い船」、「うたってよ、わたしのために」（ポプラ社）、「あんず林のどろぼう」（岩崎書店）、など。ユーキャンの「立原えりかの童話塾」塾長、童話創作教室の講師、創作童話の機関誌「ヒースランド」の編集長などをつとめる。

角野 栄子（かどの えいこ）



東京に生まれる。作家。出版社につとめ、1960 年からブラジルに 2 年間滞在。帰国後、絵本、童話の創作を始める。「魔女の宅急便」（福音館書店）、「なぞなぞあそびうた」（のら書店）、「ネッシーのおむこさん」（金の星社）、「アッチ コッチ ソッチのちいさなおばけシリーズ」（ポプラ社）、「魔女からの手紙」（ポプラ社）、近作に「トンネルの森 1945」（角川書店）、「キキに出会った人々」（福音館書店）などがある。

中井 貴恵（なかい きえ）



女優・エッセイスト。大学在学中、東宝映画「女王蜂」でヒロインデビュー。その後、数々の映画、ドラマに出演。現在は「大人と子供のための読みきかせの会」の代表をつとめる。2006 年より様々なジャンルの音楽と朗読を合体させた朗読公演「音語り」にも精力的に取り組んでいる。「あらしのよるに」、「きいろいばけつ」、「ナゲキバト」などを全国で公演中。エッセイスト、絵本翻訳家として著作物多数。

宮西 達也（みやにし たつや）



静岡県に生まれる。絵本作家。日本大学芸術学部美術学科卒業。人形美術、グラフィックデザイナーを経て絵本をかきはじめる。作品に、「おまえうまそうだな」（ポプラ社）、「おとうさんはウルトラマン」（学習研究社）、「ヘンテコリンおじさん」（講談社）、「きょうはなんてうんがいいんだろう」（鈴木出版）など多数。

薫 くみこ（くん くみこ）



東京に生まれる。作家。高島屋の広告デザイナーを経て、児童文学、絵本、童話の創作を始める。作品に「十二歳の合い言葉—12歳シリーズ」（ポプラ社）、「あのときすきになったよ」（教育画劇）、「ハキちゃんの『はっぴょうします』」（佼成出版社）、「ちかちゃんのはじめてだらけ」（日本標準）など。近作に「げんきのみかたパンツちゃん」「だいすきのみかたパンツちゃん」（ポプラ社）など多数ある。